

# 総合戦略（政策パッケージ毎）の成果目標（KPI）の達成状況及び今後の方針 【別紙4】

基本目標 No. 1～4	基本目標 KPI 政策パッケージ (7～8) No.	(1) 成果指標=KPI (★重複)	(2) H26現況値 (戦略策定時)		(3) H27実績値 (検証時)		(4) H27達成度 S⇒目標を大きく上回っている A⇒目標の達成に向け順調に推移 B⇒目標を下回って推移 C⇒目標を大きく下回って推移 →未算出	(5) H31目標値 (戦略掲載)		(6) 今後の方針 新規・継続・変更・削除	(7) 担当課	
			数値	単位	数値	単位		数値	単位			
1	(1)	★製造品出荷額	345	億円	361	億円	A	390	億円	継続		商工観光課
1	(2)	<del>(変更)</del> ★認定農業者数	<del>180</del> →197	人	205	人	A	<del>200</del> →217	人	変更	○当初設定値を最新数値に修正します。また、それに併せて目標値も修正します。	農林水産課
1	(3)	★卸小売売上額	306	億円	318	億円	A	350	億円	継続	○2年、3年おきにしかな数値がでないので、近似値の追加・変更を検討していきます。	商工観光課
1	(4)	町内事業所数	901	事業所	—	事業所	—	930	事業所	継続	○2年、3年おきにしかな数値がでないので、近似値の追加・変更を検討していきます。	商工観光課
1	(ア)	1 PDCAサイクルの確立	未実施	実施&未実施	実施	実施&未実施	A	実施	実施&未実施	継続		企画財政課
1	(ア)	2 「おいらせ町総合戦略」の進捗をアウトカム指標を原則とした重要業績評価指標（KPI）により検証・改善	未実施	実施&未実施	実施	実施&未実施	A	実施	実施&未実施	継続	○個別事業のKPIに事業数を設定します。⇒H31年までに28事業の検証を目標値とします。	企画財政課
1	(イ)	1 <del>(変更)</del> ★認定農業者数	<del>180</del> →197	人	205 (+8)	人	A	<del>200</del> →217	人	変更	○当初設定値を最新数値に修正します。また、それに併せて目標値も修正します。	農林水産課
1	(イ)	2 新規就農者	—	人	1	人	B	10	人	継続		農林水産課
1	(イ)	3 農事法人など組織経営体数	10	経営体	10	経営体	C	12	経営体	継続		農林水産課
1	(イ)	4 農地集積面積	—	ha	38.9	ha	A	115	ha	継続		農林水産課
1	(ウ)	1 <del>(変更)</del> おいらせ町の認知度（イベント時に調査実施）	62.8	%	79.01	%	S	<del>70</del> →85	%	変更	○H27実績と情報発信の強化を踏まえてH31目標値を「85%」に見直しします。 ○指標の調査対象について疑義（対象者や対象数などから信ぴょう性が低い）があるので、第2次総合計画策定時に見直しを検討します。	商工観光課
1	(ウ)	2 おいらせブランドの認定数	45	認定品	45	認定品	C	60	認定品	継続		商工観光課
1	(ウ)	3 体験型観光での域外からの年間来客人数	150	人	170	人	B	300	人	継続		商工観光課
1	(ウ)	4 官民連携により特産品等を開発した団体数	2	団体	2	団体	C	4	団体	継続		商工観光課 農林水産課
1	(エ)	1 <del>(変更)</del> 漁獲金額	<del>203</del> →183	百万円	340	百万円	S	228	百万円	変更	○当初設定値を最新数値に修正します。 ○毎年の変動が大きく安定しないので、要因を分析していきます。	農林水産課
1	(エ)	2 新規漁業就労者	—	人	0	人	C	5	人	継続		農林水産課

基本目標 No. 1～4	基本目標 K P I		(1) 成果指標=K P I (☆重複)	(2) H26現況値 (戦略策定時)		(3) H27実績値 (検証時)		(4) H27達成度 S⇒目標を大きく上回っている A⇒目標の達成に向け順調に推移 B⇒目標を下回って推移 C⇒目標を大きく下回って推移 →未算出	(5) H31目標値 (戦略掲載)		(6) 今後の方針 新規・継続・変更・削除	(7) 担当課	
	政策パッケージ (7～キ) No.			数値	単位	数値	単位		数値	単位			
1	(オ)	1	買物利便性への満足度 (満足)	32.3	%	—	%	—	50	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	商工観光課
1	(オ)	2	地元商店街を利用している割合	67.6	%	—	%	—	70	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	商工観光課
1	(オ)	3	商店街賑わいのためのイベント開催数	—	件	6	件	B	40	件	継続		商工観光課
1	(オ)	4	空き店舗 (助成制度活用) で営業を開始した事業者数	0	件	4	件	B	25	件	継続	○業況・雇用状況等に関する計数を毎年把握し、K P Iには設定しませんが、本事業の検証の参考数値とします。	商工観光課
1	(オ)	5	街なかサロンへの来場者数	0	人	2,309	人	C	25,000	人	継続		商工観光課
1	(オ)	6	☆卸小売業売上額	306	億円	318	億円	A	350	億円	継続	○2年、3年おきにしかな数値がでないので、近似値の追加・変更を検討していきます。	商工観光課
1	(カ)	1	☆製造品出荷額	345	億円	361	億円	A	390	億円	継続	○2年、3年おきにしかな数値がでないので、近似値の追加・変更を検討していきます。	商工観光課
1	(カ)	2	新規企業及び既存企業で工場を新増設した企業件数	0	社	0	社	C	5	社	継続		商工観光課
1	(キ)	1	誘致企業数	31	企業	29 (-2)	企業	C	増加	社	継続	○雇用数を毎年調査し、K P Iには設定しませんが、本事業の検証の参考値とします。	商工観光課
1	(キ)	2	☆女性の就業率 (20代)	72.11	%	—	%	—	76.5	%	継続	○毎年数値が出ないが重要な指標となるので項目を残したうえで、女性の就業や活躍に係わる近似指標の追加を検討していきます。	企画財政課
			☆女性の就業率 (30代)	69.82	%	—	%	—	72	%			企画財政課
1	(キ)	3	☆子育てサポート企業認定数	0	社	0	社	C	2	社	継続		町民課 商工観光課
1	(キ)	4	若年者 (15～39) の年間町外流出 (転出超過)	転出超過 1	人	転出超過 27	人	C	転入超過 50	人	継続		企画財政課
1	(キ)	5	雇用奨励金の年間活用件数	4	件	10	件	A	10	件	継続		商工観光課
1	(ク)	1	<b>(変更)</b> ☆八戸圏域定住自立圏及び八戸圏域連携中枢都市圏の連携する事業数	58 (27)	事業	— (28)	事業	A	61 (31)	事業	変更	○平成29年1月から八戸圏域連携中枢都市圏へ移行するので、K P Iの名称と数値を変更します。 ※名称は、「及び八戸圏域連携中枢都市圏」を追記します。また、数値は、移行時の事業数「58」を現況値とし、目標値は、毎年の上乗せ分を追加した数に変更します。()内は、当初設定値。	企画財政課
1	(ク)	2	☆上十三・十和田湖圏域定住自立圏の連携する事業数	19	事業	19	事業	C	21	事業	継続		企画財政課

基本目標 No. 1～4	基本目標 K P I 政策パッケージ (7～4) No.	(1) 成果指標=K P I (☆重複)	(2) H26現況値 (戦略策定時)		(3) H27実績値 (検証時)		(4) H27達成度 S⇒目標を大きく上回っている A⇒目標の達成に向け順調に推移 B⇒目標を下回って推移 C⇒目標を大きく下回って推移 →未算出	(5) H31目標値 (戦略掲載)		(6) 今後の方針 新規・継続・変更・削除	(7) 担当課
			数値	単位	数値	単位		数値	単位		
2	(1)	県外からの年間転入者数	318	人	319	人	B	350	人	継続	企画財政課
2	(2)	☆年間観光客入込数	649,323	人	738,304	人	A	800,000	人	継続	商工観光課
2	(ア)	1 洋光台団地販売区画数 (490区画⇒498区画)	490	区画	493	区画	A	全498	区画	継続	企画財政課
2	(ア)	2 永く住み続けられる魅力があると 感じる割合 (感じる)	69	%	—	%	—	85	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。 企画財政課
2	(ア)	3 空き家バンクを活用した移住世帯数	0	世帯	0	世帯	C	10	世帯	継続	企画財政課
2	(ア)	4 地域おこし協力隊の受け入れ数	0	人	0	人	C	3	人	継続	企画財政課
2	(イ)	1 東京おいらせ会会員数	145	人	139	人	C	200	人	継続	企画財政課
2	(イ)	2 同窓会支援数	0	件	0	件	C	20	件	継続	企画財政課
2	(ウ)	1 ☆年間観光客入込数	649,323	人	738,304	人	A	800,000	人	継続	商工観光課
2	(ウ)	2 公園に満足している住民の割合 (19.5%⇒30%)	19.5	%	—	%	—	30	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。 地域整備課
2	(ウ)	3 観光ボランティア登録数	0	人	3	人	C	50	人	継続	商工観光課
2	(ウ)	4 おいらせ検定受験者数	0	人	0	人	C	50	人	継続	○まちあるき事業との統合や廃止を含め再検討します。 商工観光課
2	(ウ)	5 まちあるきの参加者数	0	人	76	人	A	300	人	継続	商工観光課
2	(エ)	1 文化財の年間活用数 (案内、学習 の場として)	18	組	11	組	C	増加	組	継続	社教・体育課
2	(エ)	2 ふるさと学習塾→おいらせの学び カレッジ一般講座受講者数 (1講 座あたり)	158	人	239	人	A	200	人	継続	○おいらせ町の学びカレッジ「一般講座」に名称変更し ます。 社教・体育課
2	(エ)	3 文化協会に加入している団体数	65	団体	68	団体	A	80	団体	継続	社教・体育課
2	(エ)	4 社会教育関係団体に登録する団体 数	90	団体	115	団体	A	100	団体	継続	社教・体育課
2	(エ)	5 郷土文化を理解した児童生徒数の 割合	24	%	—	%	—	30	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から実施 する町民 (小中学校含む) アンケートへの追加を検討し ます。 学務課

基本目標 No. 1～4	基本目標 K P I		(1) 成果指標＝K P I (☆重複)		(2) H26現状値 (戦略策定時)		(3) H27実績値 (検証時)		(4) H27達成度 S⇒目標を大きく上回っている A⇒目標の達成に向け順調に推移 B⇒目標を下回って推移 C⇒目標を大きく下回って推移 →未算出	(5) H31目標値 (戦略掲載)		(6) 今後の方針 新規・継続・変更・削除	(7) 担当課
	政策パッケージ (7～キ) No.		数値	単位	数値	単位	数値	単位					
3	(1)		☆子育て支援全般への満足度	67.1	%	—	%	—	70	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	町民課
3	(2)		☆合計特殊出生率	1.61	人	—	人	—	1.8	人	継続	○毎年数値がでないものの、全国一律の数値のため変更しない。ただし、検証用の独自推計（期間合計特殊出生率）を追加します。	町民課 環境保健課 企画財政課
3	(3)		<b>(新規)</b> ☆期間合計特殊出生率	1.63	人	1.51	人	—	1.8	人	新規	○進捗を検証するため独自推計値を追加します。	町民課 環境保健課 企画財政課
3	(ア)	1	☆子育て支援全般への満足度	67.1	%	—	%	—	70	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	町民課
3	(ア)	2	保育待機児童数	0	人	維持	人	A	維持	人	継続		町民課
3	(ア)	3	☆合計特殊出生率	1.61	人	—	人	—	1.8	人	継続	○毎年数値がでないものの、全国一律の数値のため変更しない。ただし、検証用の独自推計（期間合計特殊出生率）を追加します。	町民課 環境保健課 企画財政課
3	(ア)	4	<b>(新規)</b> ☆期間合計特殊出生率	1.63	人	1.51	人	—	1.8	人	新規	○進捗を検証するため独自推計値を追加します。	町民課 環境保健課 企画財政課
3	(ア)	5	結婚率	4.3	%	4.1	%	C	5.3	%	継続		企画財政課 町民課
3	(ア)	6	☆女性の就業率（20代）	72.11	%	—	%	—	76.5	%	継続	○毎年数値が出ないものの、重要な指標となるので変更しない。ただし、女性の就業や活躍に係わる（補足する）近似指標の追加を検討していきます。	企画財政課
			☆女性の就業率（30代）	69.82	%	—	%	—	72	%			企画財政課
3	(ア)	7	☆子育てサポート企業認定数	0	社	0	社	—	2	社	継続		町民課 商工観光課
3	(イ)	1	町内小中学校の児童・生徒数	2,248	人	2,187	人	C	現状維持	人	継続		学務課
3	(イ)	2	ICTを活用した町内小学校数	0	%	0	%	C	40	%	継続		学務課

基本目標 No. 1～4	基本目標 K P I		(1) 成果指標=K P I (☆重複)		(2) H26現況値 (戦略策定時)		(3) H27実績値 (検証時)		(4) H27達成度 S⇒目標を大きく上回っている A⇒目標の達成に向け順調に推移 B⇒目標を下回って推移 C⇒目標を大きく下回って推移 →未算出		(5) H31目標値 (戦略掲載)		(6) 今後の方針 新規・継続・変更・削除		(7) 担当課
	政策パッケージ (7～キ) No.		数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位			
4	(1)	☆健康寿命の延伸	男 77.6 女 85.9	歳	男 — 女 —	歳	—	—	男 79.6 女 86.4	歳	—	—	継続	○毎年数値が出ないものの、全国一律の数値のため変更しない。ただし、これを補足する近似指標の追加を検討していきます。	環境保健課
4	(2)	(変更) ☆居住地が「良好なまちなみ(適正な土地利用)である」と感じている割合	55.1	%	—	%	—	—	70	%	—	—	変更	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。 ○この項目は、総合計画の達成指標となっているので、整合性を保つためにも削除せず、補助的な説明を追記します。「まちなみ」の後に(適正な土地利用)を加えます。	企画財政課
4	(ア)	1 (変更) ☆居住地が「良好なまちなみ(適正な土地利用)である」と感じている割合(感じる)	55.1	%	—	%	—	—	70	%	—	—	変更	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。 ○この項目は、総合計画の達成指標となっているので、整合性を保つためにも削除せず、補助的な説明を追記します。「まちなみ」の後に(適正な土地利用)を加えます。	企画財政課
4	(ア)	2 (変更) 市街化区域内における住宅新築数	12 →13	件	11	件	C	C	20	件	—	—	変更	○現状の指標は、5年毎の調査のため毎年検証できないので、町の独自集計へ変更します。	企画財政課
4	(イ)	1 役場窓口がわかりやすく利用しやすいと感じる割合	59.5	%	—	%	—	—	100	%	—	—	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	総務課
4	(ウ)	1 下田駅を利用した乗客数	54,776	人	54,563	人	C	C	60,000	人	—	—	継続	○指標は変更せず、乗客数を増加させる施策・取り組みを検討します。	企画財政課
4	(ウ)	2 バス交通の利便性への満足度	9.9	%	—	%	—	—	30	%	—	—	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	企画財政課
4	(ウ)	3 おいらせ町民バス利用者数	58,120	人	61,826	人	A	A	63,000	人	—	—	継続		企画財政課
4	(ウ)	4 地元高等学校への当町からの入学 者数	57	人	67	人	A	A	80	人	—	—	継続		企画財政課
4	(エ)	1 (変更) ☆八戸圏域定住自立圏及び八戸圏域連携中枢都市圏の連携する事業数	58 (27)	事業	— (28)	事業	A	A	61 (31)	事業	—	—	変更	○平成29年1月から八戸圏域連携中枢都市圏へ移行するので、K P Iの名称と数値を変更します。 ※名称は、「及び八戸圏域連携中枢都市圏」を追記します。また、数値は、移行時の事業数「58」を現況値とし、目標値は、毎年の上乗せ分を追加した数に変更します。( )内は、当初設定値。	企画財政課
4	(エ)	2 ☆上十三・十和田湖圏域定住自立圏の連携する事業	19	事業	19	事業	C	C	21	事業	—	—	継続		企画財政課

基本目標 No. 1~4	基本目標 K P I		(1) 成果指標=K P I (☆重複)	(2) H26現状値 (戦略策定時)		(3) H27実績値 (検証時)		(4) H27達成度 S⇒目標を大きく上回っている A⇒目標の達成に向け順調に推移 B⇒目標を下回って推移 C⇒目標を大きく下回って推移 →未算出	(5) H31目標値 (戦略掲載)		(6) 今後の方針 新規・継続・変更・削除	(7) 担当課	
	政策パッケージ (7~キ) No.			数値	単位	数値	単位		数値	単位			
4	(オ)	1	☆健康寿命の延伸	男	歳	男	歳	—	男	歳	継続	○毎年数値が出ないものの、全国一律の数値のため変更しない。ただし、これを補足する近似指標の追加を検討していきます。	環境保健課
				77.6		女	歳	女	歳	—			
4	(オ)	2	特定健康診査受診率	31.2	%	33.2	%	C	60	%	継続		環境保健課
4	(オ)	3	栄養バランスを考え食事をしている成人の割合	37.6	%	—	%	—	60	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	環境保健課
4	(オ)	4	(変更) 自殺死亡率(10万人に対して)	<del>43.6</del> →20.7	人	27.7	人	C	減少	人	変更	○当初設定値を最新数値に修正します。また、それに併せて目標値も修正します。	環境保健課
4	(オ)	5	心身ともに健康だと感じている人の割合	66.6	%	—	%	—	75	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	環境保健課
4	(オ)	6	健活ポイント事業参加延べ人数	—	—	200	人	C	2,000	人	継続		環境保健課
4	(オ)	7	運動をしていない人の割合	51.9	%	—	%	—	40	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	環境保健課
4	(カ)	1	町消防団団員数	334	人	333	人	C	360	人	継続		まちづくり 防災課
4	(カ)	2	自主防災組織の組織率	74.7	%	81.0	%	A	85	%	継続		まちづくり 防災課
4	(カ)	3	地震などの災害対策への満足度	26.7	%	—	%	—	50	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	まちづくり 防災課
4	(キ)	1	犯罪発生件数	127	件	147	件	C	減少	件	継続		まちづくり 防災課
4	(キ)	2	夜道の安全や防犯への満足度	17	%	—	%	—	50	%	継続	○5年毎の調査のため検証できない。平成29年度から毎年調査を実施します。	まちづくり 防災課
4	(キ)	3	自主防犯組織の組織率	39	%	39	%	C	50	%	継続		まちづくり 防災課

S⇒2/52 (3.9%)  
A⇒18/52 (34.6%)  
B⇒5/52 (9.6%)  
C⇒27/52 (51.9%)

H27年度  
達成度  
38.5%

S⇒5年後の目標値を大きく上回った。  
C⇒単年度計算値で達成度が50%未満  
※重複するK P I は一つで集計

K P I 総数72項目  
(内未算出20)